

(別紙2)

3. 助成対象事業の成果（結果）

【事業名】 事業名のほか、A事業①②、B事業の別も記入してください。

(B事業) イベントや展示商談会を活用した県内事業者の情報発信力向上支援

【目的〈課題認識、方向性、目標、事業実施計画等〉】

集客力の高いイベントや展示商談会に県内の中小企業等が出展することを通じ、情報収集や消費者ニーズの把握、課題の確認等を行うことを目的に実施する。これにより、出展事業者自身が将来的な全国展開、海外展開等に繋げていく足掛かりにするとともに、その結果を当センターが吸い上げ、把握した情報やニーズ等について専門家による分析を行い、今後の事業展開に反映させ、積極的に他の県内事業者にはフィードバックすることを想定している。

これにより、県内の中小企業等が全国展開、海外展開等に取り組む機運を高め、より多くの事業者が事業を拡大するきっかけになることを目指す。

【成果（結果）〈実施事業の内容・実績、実施した結果生まれた新たな課題等〉】

(1) 全国展開・海外展開等促進のための情報発信力の向上支援

①【令和2年度】ワークショップおよびセミナーの開催

三重県と連携して、県内事業者の情報発信力向上に向けたワークショップを令和2年度中に5回開催した。また、当該取組みのキックオフイベントとして、(株)ビームスクリエイティブディレクターの“窪 浩志”に講師を依頼し、令和2年9月に“モノを通して文化を創る～BEAMSのPB商品戦略を学ぶ～”と称したセミナーを開催した。

参加者からは「動画での表現化の重要性を実感した。」や「実際の体験に基づくモノづくりの視点がわかりやすかった。」等、好評の意見が寄せられた。



②【令和4年度】セミナーの開催

JETRO三重および県内事業者連携して、県内事業者の海外販路開拓にかかる意識醸成および商談時の情報発信力向上に向け、(i) 諸外国の法規制や商談時におけるポイント等の説明、(ii) 事業者による商談事例紹介、(iii) オンライン模擬商談等をプログラムに組み込んだ「海外販路開拓商談セミナー」を4回コース（全てオンライン形式）で開催した。

参加者からは「セミナーを通して自社でできること、自社ではこうすべきことのイメージを持つことができた。」や「模擬商談ではっきりわかりやすくアドバイスをもらうことができた。」等の意見が寄せられた。



③【令和4年度】沖縄大交易会における専門家支援

販路開拓を強みに持つ専門家を選定し、実際の商談の場で出展事業者と同席の上、商談方法や商品PR方法等について指導を行うとともに、出展事業者に対して情報発信力向上に資する関連書籍の提供を行った。

(2) 集客力の高いイベントや展示会を活用した情報発信

①【令和2年度】県内事業者への情報発信の機会提供

上記ワークショップを通じて誕生した商品をPR・販売するために、三重県最大の観光地である伊勢神宮外宮でのPR・販売を行った。当該商品のPR・販売については商品説明だけでなく、製造会社の概要等がわかるパネルを準備し、積極的なPRを行った。



②【令和3年度】東京オリンピック・パラリンピック関連イベントでの商品PR

三重県と共同で、海外・首都圏への販路拡大を希望している事業者の商品PRを東京オリンピック・パラリンピック関連イベントにて行った。当該商品のPRについて事業者および当センターが現地で直接PRする予定であったが、越県規制により首都圏への移動が叶わなかったため、製造会社や商品概要が確認できるパネル等を作成し、三重県が選定した委託事業者による現地での同資材を使用したPRを行った。

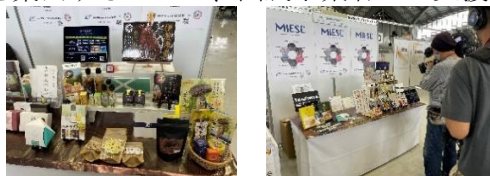


③【令和3年度】沖縄大交易会への出展支援

現地にて開催されたものの、開催決定が同交易会開催直前となったこと、新型コロナウイルス感染症の蔓延状況等を鑑み、専門家による現地指導を行うことができず、効果的な出展者支援を行うことができなかったため、令和4年度においては、専門家による事前セミナーおよび現地指導等を実施した。

④【令和4年度】沖縄大交易会における三重県PRブースの展開

同交易会内において三重県PRブースを展開し、出展事業者の商品展示やバイヤーへの商品概要の説明を行うとともに、興味を示したバイヤーに対しては事業者のブースを案内することで、出展事業者のPR支援および商談機会の提供を行った。



【評価〈目標の達成度〉、数値の検証等】

中小企業地域資源活用等促進事業（B事業）については令和元年度から取組みを開始し、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けながらも、当初予定から事業期間の延長等を行い、令和4年度まで取組みを行った。

「イベントや展示商談会を活用した県内事業者の情報発信力向上支援」をテーマに掲げ、①全国展開・海外展開等促進のための情報発信力の向上支援や、②集客力の高いイベントや展示会を活用した情報発信に取り組み、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の開催が延期・見送りとなる中で、オンラインでのセミナー開催やパネル等を活用した展示会での商

品・事業者のPR展開等、コロナ禍においても工夫を凝らした効果的な事業者の情報発信力向上支援を行うことができた。

特に、展示商談会についてはコロナ禍によりオンライン形式（ハイブリッド形式含む）での開催が主流となったことを受け、事業者においてはリアル形式での商談とは異なる情報発信力が求められているが、当該事業でのセミナーにおいて、オンライン形式での商談事例共有やオンライン模擬商談等を通し、オンラインでの情報発信力の向上に向けた支援を行い、参加した県内事業者からは「オンライン模擬商談でフィードバックと明確なアドバイスを頂けたので、何が足りなくて何が改善事項なのかを意識することができ、とても参考になりました。」といったポジティブな意見も寄せられたことから、事業者の情報発信力の向上支援について非常に効果的な取り組みとなった。

これらの取組結果を踏まえ、今般の中小企業地域資源活用等促進事業（B事業）を通して、コロナ禍を考慮した形式でのセミナー開催や専門家による実地支援等により県内事業者支援の全国展開・海外展開等に向けた情報発信力向上に資する支援を十分に行うことができたことに併せ、参画いただいた専門家からも取組みについて一定の評価を得ており、当センターとしては展示商談会の開催方法や社会的情勢等に応じた支援ノウハウを習得することができたことから、非常に効果的な事業であったと思料する。

【今後の進め方〈波及効果を含めて〉をどうするのか】

今般の中小企業地域資源活用事業（B事業）を通じて得た経験やノウハウを活かし、県内事業者全体へ支援を波及させるため、当センターとしては以下のとおり、必要に応じて事業者支援を行っていく。

＜①全国展開・海外展開等促進のための情報発信力の向上支援＞

県内事業者の全国展開・海外展開等促進のための情報発信力の向上に向けた支援については、情報発信力向上に資する内容をテーマとしたセミナーを適宜開催するとともに、参加者に対してのフォローアップおよび情報発信の機会提供を行うこととする。なお、セミナーの開催方法についてはスポット的な開催ではなく、事前セミナーからフォローアップまでをパッケージングした内容とし、事業者にとってより効果的な情報発信力の向上に資する形式での開催を検討する。また、情報発信の機会提供については、当センター主体での展示商談会の開催を検討するとともに、三重県内・広域・海外で開催される商談会への参加を促すことで情報発信の機会提供を行うこととする。なお、参加に向けてはJETROの有するプログラム（セミナー、専門家の派遣、補助金等）の活用を紹介するとともに、必要に応じて、当センターで取り扱う補助金等の情報を提供することで県内事業者全体の全国展開・海外展開等にかかる意識醸成の促進を図る。

＜②集客力の高いイベントや展示会を活用した情報発信＞

集客力の高いイベントや展示会を活用した情報発信については、事業者の出展による自発的な情報発信に頼るだけでなく、当センターとしても様々なイベントや展示会へ参画し、県内事業者の取り扱う商品やサービス等について積極的にPRを行っていくことで、事業者の情報発信の一助となるよう取り組んでいく。

これまで当センターでは「沖縄大交易会」、「しんきんビジネスフェア」、「三重県人会」等において県内事業者の取り扱う商品やサービスの展示・PRを行っているところであるが、県内事業者が出展する展示会やイベントは国内においても多数あることから、これらでの支援についても実施を検討する。また、リアル形式で開催されるイベントや展示会での情報発信のほか、オンラインで事業者の情報発信の一助となる取組みについても検討する必要がある。令和5年度以降、当センターホームページ上において県内事業者の情報発信に資する内容を整備するとともに、将来的には企業ニーズのタイムリーな発信が可能なバーチャル空間を構築し、事業者の情報発信にかかる支援を行っていきたい。

注1）上記項目について詳細に記載してください。

注2）成果（結果）の内容について、別途、お伺いすることがあります。

注3）成果物（報告書・アンケート集計物・DVD等）、記録用写真等があれば提出してください。